

笹ヶ峰

四国のほぼ中央にどっしりとした山容を立ち上げる笹ヶ峰。石鎚山、箱ヶ森とともに伊予三山、日本二百名山、四国百山に数えられる。古くから信仰の山でもあり、石鎚山より早く開山したと伝わる山頂には笹ヶ峰石鉄大権現と不動明王像が祀られている。神々の山として崇められている。ササ原の中のコメツツジ群落。山頂からの超級の眺望。そして人々を惹きつける豊かな自然が訪れる人々をあっけりと包みこんでくれる。優しくやわらかく、そしてずっしりとした重量感と何ともいえない存在感を纏う石鎚山脈の名峰。

丸山荘下津地 笹ヶ峰頂上社 笹ヶ峰石鉄大権現 至 五山・平家平

2023.10.21
シーズン初霧氷

分岐 中 笹ヶ峰

一等三角点

下界は晴れても
稜線はガスと風
山の天気は急変

笹ヶ峰のコメツツジ群落は四国山地有数の有生地だ。強風の吹き抜ける風衝地に主に自生する。6.7月頃米粒ほどの白い花を咲かせ、秋には紅く色づく。

ササ原の中にコメツツジ群落

五山、冠山がよく見える

南側が開けられて
歩道もササ原に囲まれ
歩きやすい迷うことはない

ササが風に吹かれて
サササと鳴る。
心地良い音だ。

シコクシラバ在

ササドウダンの紅、美しい

ひと休みに最適
伊予富士・寒風山
冠山、五山よく見える

広葉樹林

ナナミツナリトナナミツナリも混じる。

シロモジの黄色が美しい

歩道の整備に
山への愛を感じる。

尾根先のバンシ
ロープあり
急坂

人工林になる
国有林境界

林道歩きも
楽しい。林道寒風山度々線

寒風山登山口まで
3.5km
笹ヶ峰まで2:20

良きことはカタツムリの
速度で進む。
時間はかかっても
少しずつ
じわじわと
進むことが大切なんだなあ。

歩く
歩くという漢字は「止まる」と少し
からでている。
たぶん、音から止まりながら少しずつ
進むことを歩くと考えたのだ
3つほど。
急ぐと見えなくて、ゆっくり下から
こそ見えてくること、感じることも
できること。
ゆっくり歩くということはいいことだ。
ゆっくり行く者は遠くまで行く。

山の天気は日に七度変わるといわれる。
10月14日、高知市内は晴。登山口に着くと曇り。稜線に出ると瀨戸内から雲が流れ込み、長湯も急降下。山頂ではまじかの霧氷に凍える。林道へ下りると青空が寒風山の山に広がり、再び寒風山へ登ると、また曇る。まっこと山の天気はめまぐるしく変わり、おもしろい。
2023.10.21山行

すごーい、やばーい、きれいー
山に来ると、極端に
語彙がなくなる

瀨戸内海も見える。

ゴミ一つ落ちてない登山道
ゴミを捨てるということは
良心まで捨てては。
ゴミを捨てるということは
運やチャームに任せることが出来る。
ヤブ・ポイント
南側の深緑の森

笹ヶ峰自然環境保全地域
笹ヶ峰を中心とする山稜部は
アサキからシコクシラバ林、ササ群落
コメツツジ群落まで四国山地の
代表的な天然林が広がり、冷
温帯・亜寒帯の自然植生が
見られる。昭和55年環境省制定

肺いっぱい山の空気を吸い込み、
身のあみあみまで酸素が届く。

時々鹿の音が
聞こえる。

分水嶺の稜線の土に足の裏を
しっかりつけて歩く。
嫌なことも、音も立ち、哀れも
知らぬ間に山の土が吸い
取ってくれて、いつの間にか
すがすがしい気持ちにリセット
してくれるかのようだ。
そして同時に足元に何か
力がわいてくるような気持ち
で歩いてくる。

ヤマグルミ

ゴツゴツした
岩場。
ササにたかたか注意

シコクシラバ

ササが深い
早朝の山歩きは
露があるのが
カッパスボイが
あるめ。

四国には笹ヶ峰という名の山が
三座あり、いずれも千メートルを超す。
ほかにも「ササ」のつく山は意外と多く
ササ原、あるいはササ深い山に由来する。
01860m (いの町・西条市)
01131m (土佐町と南国市・工場の東)
01027m (土佐町と四国中津市・参勤交代の道)

寒風山

寒風山からの笹ヶ峰は
ササ原に覆れた高原
のようで、滑らかなスロー
曲線がとてつもない
山容を見せてくれる。

林道から寒風山を
見上げる。
切り立った姿だ。
迫力があるなあ。

樹林帯を抜けると
ササ原が広がる。

ロープありの上下

高度感板群
西壁の展望

コナラ林

スナシシ製
ほじく
慎重に

桑瀬峠へ
↓

寒風山から笹ヶ峰、五山方面

